

# 公共事業とわたしたちの未来

～「公共事業改革法案」による公共事業の大転換への道筋を考える～

人口減少時代を迎え、右肩上がりの経済成長を前提とした新規開発型公共事業の必要性が失われてきています。また、東日本大震災などの大規模災害は、防波堤やダムなど「ハード」だけに頼った災害対策の在り方に警鐘を鳴らしています。他方で、厳しい財政状況にもかかわらず、旧来の利権型公共事業を推進しようとする動きが改まる気配はなく、環境破壊や私たちの生活破壊が懸念されます。「コンクリートから人へ」の改革は暗礁に乗り上げたかに見えます。

私たちの豊かな生活のために公共事業はどうあるべきか？その手続は？市民の参加は？環境保全は？日弁連の提案する「公共事業改革法案」により公共事業のあり方を転換することはできるか？

パネリストの討論を通じ、公共事業と環境保全・私たちの生活との関係について考えます。

入場無料  
事前申込み不要

日時 2011年12月3日(土) 午後1時～5時

場所 弁護士会館 2階講堂「クレオA」(〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-1-3)

## プログラム(予定)

### 事例報告

「公共事業をめぐる紛争事例市民による“改革”の試み」  
報告(レビュー)

「公共事業改革に関する日弁連のこれまでの取組」  
基調提言

「公共事業改革法案が描く道筋」  
パネルディスカッション

「これからの公共事業はどうあるべきか？」  
公共事業改革法案による大転換の可能性は？」

五十嵐敬喜(法政大学教授・都市政策)

大久保規子(大阪大学大学院教授・行政法)

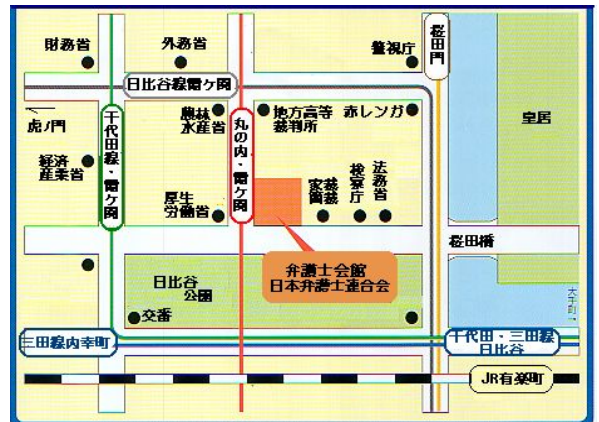
松野 信夫(参議院議員・公共事業チェック議員の会会長)

宮入 興一(愛知大学大学院長・財政学)

宮本 博司(元国土交通省河川局課長)

鈴木 堯博(弁護士)

ほか



地下鉄丸ノ内線・日比谷線・千代田線  
「霞ヶ関」駅 B1-b 出口(弁護士会館地下1階に直結)  
地下鉄有楽町線「桜田門」駅 5番出口から徒歩8分

JR山手線「有楽町」駅 から徒歩15分

## 【問い合わせ先】

日本弁護士連合会人権部人権第二課

TEL: 03 - 3580 - 9910

FAX: 03 - 3580 - 2896

主催：日本弁護士連合会